

（中学校2年生）

【数学】

<内容>

教科書 P14 にある、底面の1辺の長さが x cm、高さが y cm の正四角柱について考えてみよう。

<取り組み方>

- ① 教科書 P14 の Q の㉠～㉣の式は、それぞれどんな数量を表しているか考えよう。
- ② ㉠～㉣の式を、単項式と多項式に分けてみよう。
- ③ ㉠～㉣の式は、それぞれ何次式か考えよう。
- ④ ①で考えた数量の単位と、③で考えたことを比べて、気が付いたことを家に人に説明しよう。（「取組シート」に説明を書いてもいいよ。）

※考えたことを「取組シート」にまとめてみよう。

<学習のヒント>

- ① 「底面」「側面」ということばを使って説明してみよう。
- ② 「単項式」、「多項式」については、P14 の 10～15 行目に書かれているよ。
- ③ 「1次式」、「2次式」、…については、P15 の 17～18 行目に書かれているよ。
- ④ まず、㉠～㉣の式を、①で考えた数量の単位で分類してみよう。それぞれの分類について、「次数」はどうなっているかな。